



**問** 星ヶ丘保育園横の  
交差点の安全対策は？

長谷川 公成 議員

**Q** 星ヶ丘保育園  
横の交差点は、

交通量が少なく見通しが  
良いが、重大事故が発生  
している。運転手のス  
ピード抑止効果を上げる  
ための交通力メラ等の提  
案が却下された経緯もあ  
り、市としての対応策に  
ついて伺う。

また、星ヶ丘保育園横  
の交差点の坂を上がり、  
梅香苑バス通りと交わる  
交差点に、横断歩道の設  
置をしたらどうかと考  
えるが、見解を伺う。

**A** 部長 この交差  
点の安全対策と

しましては、「スピード  
を落とせ」の路面標示、  
更には、交差点内全面カ  
ラー舗装を施すことで、  
車の運転者に対して交差  
点である認識の注意喚起  
をしています。警察署の  
対応としては、横断歩道  
や一旦停止の表示、押し  
ボタン式の信号機の設置  
をされています。

次に梅香苑バス通りの  
交差点については、バス  
路線で団地の幹線である  
ことから、筑紫野警察署  
を通じて県公安委員会に  
対し、信号機の設置を要  
望しています。市の対策  
としては、今年度、交差  
点内にカラー舗装を施  
し、車の運転者に対する  
注意を促したいと考えて  
います。



#### 全質問項目

- ◇平成 24 年 11 月に質問を  
した南小学校における児  
童・生徒の通学路の安全対  
策と横断歩道設置について
- ◇太宰府南小学校の空調設備  
について

**Q** 市民と市役所  
の「情報共有」

とは、「情報発信」と「情  
報収集」の繰り返しで形  
作られるものである。収  
集した膨大・多岐にわた  
る情報を、分かりやすい  
形に加工して、絶えず市  
民に向けて情報発信をす  
ることにより、目に見え  
ない情報共有という「絆」  
が、市民と市役所の間に  
築かれると考える。

そこで、本市における、  
「情報共有」の現状評価  
について伺う。



**問** 市民と市役所の情報共有  
という「絆」はいかに？

木村 彰人 議員

**A** 市長 協働のま  
ちづくりを進め

ていく上で、情報の共有  
が大変重要であり、今後  
市長として「情報共有」  
に十分に配慮し、行政を  
進めて行く上で積極的に  
行動してまいります。

**部長** 行政情報の発信に  
ついては、広報「だざい  
ふ」や市ホームページを  
活用しています。情報  
収集については、毎年、  
市民意識調査を実施し、  
ホームページでの意見投  
書欄を活用しています。

しかしながら、行政と  
の情報共有が出来てい  
ると答えた市民の割合は  
29・1%に過ぎず、市民  
の皆様との情報共有に向  
けて、さらに努力が必要  
であると考えています。

#### 全質問項目

- ◇まちづくりにおける  
市民と行政の「情報共有」について





**問** 小・中学校児童・生徒の発達障がいと、いじめ問題

宮原 伸一 議員

**Q** 小学校、中学校の発達障がいの児童・生徒の現状把握といじめ問題の把握について2点伺う。

①現在、太宰府市内の小・中学校に通学している発達障がいの児童生徒数について。また、どのようにして児童・生徒を発達障がいと認定しているのか。

②太宰府市として、小・中学校のいじめ問題をどのように調査、把握しているのか。

**A** 部長 ①全小・中学校に特別支援学級を設置し、102名の児童生徒が在籍しており、障がいに応じた指導を行っています。また、通級指導教室は小学校3校4教室、中学校1校1教室を設置しており、67名が在籍しています。

認定については、保護者の教育相談を実施しています。また小・中学校及び幼稚園、保育園へ発達心理検査の案内を行い、臨床心理士による発達心理検査を実施しています。

②いじめの認知件数としては、平成26年度は47件、本年度は7月までに11件の報告を受けています。



調査、把握については、児童・生徒を対象に、いじめに特化したアンケートを実施するとともに、全児童・生徒との個別の教育相談及び保護者アンケートを実施しています。

全質問項目

◇小・中学校の児童・生徒の発達障がいについて、また、いじめ問題について



**問** 公共施設白書の作成状況はいかに？

上 彊 議員

**Q** 公共施設白書の作成について

次に、昨年4月、総務省より示された、公共施設等総合管理計画の策定の要請及び査定指針によると、ほぼ全ての地方公共団体が、平成28年度までに策定する見込みとなっている。市の見解を伺う。

**A** 市長 本市におきまして、公共施設白書の作成状況は、公共施設の老朽化が大きな課題となっています。このために、将来の財政状況、利用見込みなどを勘案した上で、長期的視点に立つて施設の更新、統廃合、長寿命化などを計画的に進める必要があります。公共施設等総合管理計画の策定を進めているところでです。



全質問項目

◇公共施設白書の作成等について

**問**

交通渋滞緩和に向けた  
早急な対策を

船越 隆之 議員



地域交通体系  
の整備について

2点伺う。

①五条交差点から天満宮までの市道に関して、大型バスによる渋滞が日常化している。地域の生活道路・通学路であるため、事故が起きる前に対策を考える必要があるが、市の見解は。

②五条交差点から五条小橋、五条駅周辺の交通体系を改善することで、太宰府市周辺の道路の年末年始の渋滞対策になると考えるが、市の見解は。



部長 ①平成19  
年9月議会に請

願が提出された経緯があり、この請願に基づき、

大型バスに限定した一方通行や速度等の交通規制について、筑紫野警察署と再三協議を行っていますが、規制は困難という結論が示されています。また、小学校の下校時間における西鉄太宰府駅方面への迂回については、旅行会社、バス会社等にも引き続き要請していきたいと考えています。

②現在、五条駅周辺については、これまでの本市の発展経過から道路網も複雑な状況であり、長期的な視点に立ち、市街地整備と併せて交通体系について検討していきたい

と考えています。



#### 全質問項目

- ◇地域交通体系の整備について
- ◇太宰府館の今後の方向性について
- ◇体育複合施設連絡ブリッジについて



観光客への情  
報提供について

2点伺う。

①最近では、中国からのクルーズ船により、多い日では100台を超える観光バスが来ており、反面、民族や生活習慣、文化の違いから、さまざまなトラブルも発生している。外国人観光客に日本での基本マナー等を伝える方法について伺う。

②観光庁が海外の旅行者向けにとった統計によると、フリーWi-Fiの設置を望む声が非常に多い。設置すれば、マナー情報や観光情報も発信でき、滞在時間の増加につながるメリットもあると考え

るが、市の見解は。

**問**

来訪者が楽しめる  
観光地づくりを

有吉 重幸 議員



部長 ①トイレ  
の使い方やごみ

の放置など外国人観光客のマナーの問題が指摘されていくことから、市ではツアー会社に対して、マナーアップの要請を行っていきます。また、状況をみながらチラシの配布等啓発活動も検討しています。

②今年度、太宰府館と観光案内所および太宰府展示館に、公衆無線LANの整備を計画しています。これが完成すると気軽にインターネットの利用が可能となり、観光情報の発信はもとより、マナー向上の啓発も行いたいと考えています。



#### 全質問項目

- ◇観光客への情報提供について





**問** 市民が利用したくなる  
図書館の運営を

神武 綾 議員

**Q** 市民図書館事業について3点  
伺う。

①図書館はたくさんさんのボランティアの方々に支えられているが、連携して行う業務の実施状況について。

②小学校に司書が配置されてから、子どもたちの読書への意欲が高まっているが、授業の中で図書館の本を生かすには不十分である。今後の展開は。  
③市民図書館は生涯学習の場であり、レファレンスの充実や調べ学習を行うための職員や施設、資料など不十分ではないか。これからの計画は。

**A** 部長 ①ボランティア団体には、絵本や紙芝居の読み聞かせ等の事業を、個人ボランティアの皆様には、書架整理や本の破損修理等、館の事業運営にご協力いただいています。

②現在、3名の図書館司書がかかわっており、学期ごとに学級文庫への本の貸し出し、すすく号の小学校への乗り入れ、学校司書の研修会を開催しています。今後もこのような形で支援を継続していきたいと考えています。

③専門資料の配架等、調べものコーナーの充実、情報の提供など職員の資質向上を常に図るとともに、市民の皆様の生涯に



わたる学習をサポートしていきたいと考えています。

**全質問項目**

- ◇市民図書館事業について
- ◇発達障がいの子どもの療育体制づくりについて
- ◇自治体が発信する平和の取り組みについて



**問** 老朽化する社会インフラ  
への対応が急務です

小畠 真由美 議員

**Q** 老朽化した社会インフラの保全と維持管理が急務になっており、市内青山でも大規模な陥没が発生している。この道路の陥没に関して、どのように状況を把握し対応しているか伺う。

また、これからの社会インフラの維持管理は、問題が起こってから対処する「発生対応型」から、問題を未然に防止する「予防保全型」に移行すべきと考える。そこで、本市の社会インフラの維持管理に対する考えを伺う。

**A** 部長 道路陥没は、施工から相当の期間が経過した水路や、排水管等の付近で発生しています。現在、陥没の対応につきましては、その多くが近隣の方々からの通報を受けて現場を確認し、緊急工事に対応しています。

今後の社会インフラの維持管理につきまして

は、「予防保全型」の維持管理を行ってまいります。橋梁と公園につきましては、施設の長寿命化



計画に基づいて、国の補助金等を活用しながら改修工事を行ってまいります。また、道路につきま

しては、点検・調査を実施しつつ、国の補助金等を活用しながら、舗装やのり面の改修工事を実施しているところです。

**全質問項目**

- ◇老朽化するインフラへの対策について
- ◇子育て支援の充実について



## 問

若者の声を  
政治に反映させるために

堺 剛 議員



選挙権年齢を  
18歳以上とする

改正公職選挙法の成立に伴い、次の4点について伺う。

- ①本市の新有権者の人数について
- ②大学生を対象に、大学と連携した選挙に関する意識調査などの取組について
- ③新有権者だけでなく、広く市民に対して周知・啓発する取組について
- ④若者の活躍推進について



部長 ①平成27年  
8月31日現在、

18歳から19歳の新有権者は、約1380人が見込まれます。

②現在のところ、大学生等に対する意識調査の予定はありませんが、ホームページや広報を利用して、十分な周知を図ってまいります。

③新有権者の政治参加意識の促進を図ることは重要であり、国・県等の機関、本市教育委員会及び大学等と連携を進めてまいります。また、啓発ポスターの掲示やリーフレットの配布、ホームページや広報紙への掲載及び出前講座などを利用して、広く市民のみなさまに周知を図ってまいります。

ます。

市長 ④若者の社会に對

する関心事や、何に對して意欲を向けることができるかについて、若者と真摯に向き合い、市政に反映していければと考えています。

### 全質問項目

- ◇若者の活躍推進について
- ◇マイナンバー制度について



## 問

高齢者福祉計画の  
現状と方針は？

門田 直樹 議員



高齢者支援計  
画では、地域密

着型介護老人福祉施設を、平成28年度中に1施設29床を整備する予定とあるが、介護を必要とする市民の現状と整備計画の概要について伺う。

- ①本市の特別養護老人ホームにおける、太宰府市民の入所者と待機者の数について
- ②地域密着型介護老人福祉施設の整備計画における公募要件について



部長 平成29年  
度末までを期間

となどとなっています。

とする高齢者支援福祉計画策定に当たり、要望調査を実施しましたところ、介護保険施設サービスの充実を望まれる意見が多数ありました。

- ①市内の特別養護老人ホーム2施設の合計定員230人に対して、太宰府市民の入所者は99人、待機者は73人となっております。
- ②公募は平成28年4月を予定し、広報・ホームページによる周知を考えています。事業者の申請要件としては、社会福祉法人であること、資金計画・事業計画に基づき安定的経営ができること、事業者指定基準に適合すること

者指定基準に適合すること



### 全質問項目

- ◇地域密着型介護老人福祉施設の整備について
- ◇非行等の問題を抱える少年等への就労支援について



**問** 今後の財政運営について  
新市長の考えは

藤井 雅之 議員

**Q** 今定例議会において平成26年度決算が提案されているが、今後の財政運営について考えを伺う。一般会計の決算をみると、歳出においては、体育複合施設整備等の投資的経費が前年比67・2%と伸び率が大きい。また、歳入において、自主財源の比率が41・5%に後退している。経常収支比率も89・8%から89・9%という状況である。今後の財政運営における市長の見解を伺う。

**A** 市長 平成28年度予算につきましては、投資的経費は抑えきみで臨みたいと考えています。

自主財源の比率が46・7%から41・5%に後退していることは大きな問題と考えます。市民税収入が34億円に対し法人税収入が4億4000万円ということ、本市においては法人税収入がほかの市に比べて少ない状況です。そこで、自主財源回復に向けた産業活性化、企業誘致を考えてまいります。また、国からの補助についても、歴史的風致維持計画等、ずっと続いているものに加え、地方創生、総合戦略という大きなビジネスチャンスをしつかり生かす企画を立て、新たな予算も確保していきたいと考えています。



**全質問項目**

- ◇財政運営について
- ◇安全保障関連法案について
- ◇信号機の設置について



**問** 県道観世音寺・二日市線の早期完成を

陶山 良尚 議員

**Q** 筑陽学園前国道3号線と二日市駅東口を結ぶ県道観世音寺・二日市線は、通学路でもあり交通量も多い。また客館跡も整備されることから、観光客の回遊ルートとしても期待される。この県道の整備は平成17年度完成予定でありながら、しばらく事業が中断していたが、近年ようやく前に進み始めている。

**A** 部長 本市からの整備要望をもとに、太宰府市域における交通安全及び円滑な道路交通確保のため、福岡県による整備事業が進められている路線です。

①平成18年に二日市駅東口と榎社交差点までの工事が完了し、残り区間についても地元説明会が行われるなど整備が再開されています。現在国道3号との交差点、榎社交差点の整備を優先的に進め、今年度も用地買収を進めています。用地取得後に、文化財調査と下水道雨水工事を行い、道路工事を行う予定です。

②県道の拡張整備の進捗状況を見ながら、地域住民の声も聴きつつ、運行の可否を判断します。

- そこで2点伺う。
- ①現在までの整備進捗状況と今後の計画について
  - ②まほろば号の乗り入れ可能性について



**全質問項目**

- ◇県道観世音寺二日市線の整備事業について





**問**

体育複合施設の課題

徳永 洋介 議員

**Q** 建設中の体育複合施設について伺う。

- ①市民が心配する財政と市民生活への影響、また予算増の理由と総額
- ②市民に必要とされる施設運営の準備
- ③補正予算と連絡ブリッジ削減
- ④管理運営の基本方針とランニングコスト
- ⑤体育複合施設の名称
- ⑥トレーニングマシンの設置
- ⑦ふるさと納税は活用できるのか
- ⑧交通渋滞と安全面の対策
- ⑨地震に対する安全性

**A**

部長 ①将来、過度の負担となる

ことはありません。労務単価、資材単価高騰により総額は約35億円。

②関係課で調整会議を行っています。

③追加工事としてアリーナの空調、移動観覧席、雨水井戸設備を加えます。会議室の机椅子、コインロッカー、移動ス

テージなどを購入します。連絡ブリッジは現工事から先送りします。

④集客、効率、採算を考慮し、指定管理者に公募委託します。管理費98万3000円、収入1330万円を見込んでいます。

⑤検討中です。  
⑥計画していません。  
⑦検討委員会を設ける必要

があります。

⑧信号機、横断歩道は警察との協議を進めます。

渋滞対策については、まちづくりとして対処するか、道路だけで対応するか判断が必要となります。

⑨耐震性は十分考慮されています。



**全質問項目**

◇体育複合施設について



**問**

小・中学校における保健室の設備は

森田 正嗣 議員

**Q**

学校現場では、生徒の排せ

つや生理にまつわる失敗が発生することがある。生徒はそれだけでも大きなショックを受けている上に、他の生徒の目に触れる可能性のある一般のトイレやシャワー設備を利用することになり、さらに心理的不安を感じてしまう。そこで、現在の保健室の、トイレとシャワーの設置状況について伺う。

また、トイレとシャワーが併設されていない学校については、設置をお願いしたい。

**A**

部長 小・中学です。

シャワーの設置状況について、設置済みの学校は11校のうち9校で、そのうち保健室内に両方とも設置しているのは4校、保健室に隣接し設置しているのが5校です。残りの2校につきましては保健室にトイレのみの設置



**全質問項目**

◇全小中学校の保健室の整備について  
◇体育複合施設の備品について



**問** 市民の意見を市政へ

**笠利 毅 議員**

**Q** 新市長のもと、太宰府市が

どういう方向に進もうとしているのか、その方向性と具体的な方策について、3点伺う。

**A** 部長 ①9月末に次年度予算編

①新年度予算に関して、予算編成の行程・スケジュールについて。  
②第五次太宰府市総合計画（後期基本計画）策定の行程・スケジュールについて。  
③予算編成や後期基本計画策定の過程で、民意を積極的に取り入れることが重要と考えるが、市長の見解を伺う。

成方針の立案、10月中旬までに各課で予算要求、その後に経営企画課での1次要求取りまとめ、12月上旬までに経営企画課長による予算審査、12月末までに総務部長審査、1月中旬に副市長審査、1月下旬に市長査定を行い、経営会議に諮った後に、3月議会に上程されます。  
②既に昨年度から5力年の後期基本計画の策定に取り組んでいます。後期基本計画の素案作成を完了し、8月31日に第1回目の総合計画審議会を開催しました。今後は11月上旬に審議会の答申をいただき、12月中にパブリックコメントを実施した後、議会に計画原案を説明し、最終的には3月議会に上程する予定です。  
**市長** ③市民のご意見を積極的に取り入れる機会をつくり、市政に反映させてまいります。



**全質問項目**

- ◇市民の意見を市政に反映させる方法について
- ◇体育複合施設の活用・運用について
- ◇教育委員会改革について

**◇編集後記◇**

9月は、敬老会をはじめ、太宰府天満宮の神幸式大祭、古都の光など、いろんな行事が目白押しのひと月でした。太宰府市議会においては、前年度の決算を審議する月です。市議会のスケジュールもぎつしりの、充実した9月になりました。

本会議や各常任委員会において、活発な質疑・意見がかわされました。議員の個人質問である一般質問も、15人の議員が登壇し、様々な角度から質問を展開しています。

そして、これらの盛りだくさんの内容を、議会だよりの限られたページに収めるのに四苦八苦、至難の業となりました。どうしても要点のみの書きぶりにならざるを得ず、残念ながら、9月議会の全容をお伝えすることができません。

ん。お伝えできない部分につきましては、11月に開催予定の「太宰府市議会意見交換会」で、しっかりと説明できることと思います。どうぞ皆様、議会意見交換会にご期待ください。

(木)

**議会広報委員会**

|      |    |    |
|------|----|----|
| 委員長  | 森田 | 正嗣 |
| 副委員長 | 木村 | 彰人 |
| 委員   | 陶山 | 良尚 |
| 委員   | 宮原 | 伸一 |
| 委員   | 徳永 | 洋介 |
| 委員   | 笠利 | 毅  |
| 委員   | 堺  | 剛  |

